

審査結果報告書

平成 30年 8月 30日

主 査 氏 名

生地 新



副 査 氏 名

熊谷 雄治



副 査 氏 名

田谷 浩利



副 査 氏 名

井上 勝夫



1. 申請者氏名 : DM12006 磯島 学

2. 論文テーマ :

Effects of coaching skills training by occupational health staff on improving managers' communication behavior: A randomized controlled trial
(産業保健スタッフが行うコーチングスキル研修が管理職のコミュニケーション行動を向上させる効果：無作為化比較試験)

3. 論文審査結果 :

本論文は、組織内のリーダーのコミュニケーション行動を向上させる効果があると報告されているコーチングスキルの研修を、一般企業の産業保健スタッフが管理職対象に行った場合のコミュニケーション行動への効果について、無作為化比較試験を用いて検討した研究について報告している。コーチングスキルの研修は、講義とWEB教育を併用したもので、産業保健スタッフが実施しており、効果の評価には自記式の質問票を用いている。研究の結果、この方法によるコミュニケーションスキルの研修が、管理職のコミュニケーション行動が向上させる効果が示唆された。特に、もともとコミュニケーション能力の低かったものにおいて、その効果が大きいことも示唆された。

本論文は、比較的低コストで組織内の産業保健スタッフが行う研修によりコミュニケーション行動の向上が得られるということを示したという点で産業精神保健分野において価値があり新規性もある研究と言える。

アウトカムの評価が主観的な質問紙によるものである点、対象者が一企業の男性管理職だけであるという点などで限界はあるが、方法論はしっかりしており、申請者の質疑に対する応答も的確であった。

以上のことから、本論文は、本学大学院医療系研究科博士課程の学位論文として認めるに値するものであると審査委員会は判断した。